

大規模災害への対応力強化 ～土砂災害対策の推進～

【担当省庁】国土交通省

1. 国による砂防事業の推進

御礼 紀伊半島大水害において、深層崩壊や天然ダムの発生により甚大な被害が生じた紀伊山地において、河道閉塞箇所等の対策を重点的・集中的に進めて頂いていることに感謝申し上げます。



きたまた 北股地区(野迫川村)

○残存する不安定土砂の流出被害防止のため砂防堰堤等の施設整備を推進。



かんのがわ 神納川流域(十津川村)

○土砂・洪水氾濫被害を防ぐため、砂防堰堤等の施設整備を推進。



ひやみず 冷水地区(天川村)

○斜面再崩壊による被害防止のため、山腹工（排水工や法面保護工）や河川護岸工等の施設整備を推進



ながとの 長殿地区(十津川村)

○天然ダムの決壊や残存する不安定土砂の流出による被害防止のため、排水工や砂防堰堤等の施設整備を推進。



くいだいら 栗平地区(十津川村)

○残存する不安定土砂の流出被害防止のため、砂防堰堤等の施設整備を推進。



2. 奈良県の実施する土砂災害対策への支援

県民の命と暮らしを守るため、避難所の保全など重点的なハード対策とソフト対策を両輪として実施しています。本年度からは、安全な避難所の確保対策を加速化すべく、市町村による避難所の移転費用を支援する予算補助制度を新たに創設しております。

市町村の防災まちづくりを支援する新施策（市町村による避難場所移転への予算補助）

- レッド区域外への避難場所移転費用の90～95%、3000万円を上限に補助。
 - ▶速効性のある対策として事業期間 は原則2年
- 安全な避難場所の早期確保とともに様々な効果
 - ▶避難しなくなる環境整備（適切な避難行動促進）
 - ▶既存避難所が抱える課題解決（バリアフリー化、耐震改修）
 - ▶地域コミュニティ形成・地域の賑わい創出に寄与

○短時間・低コストで安全な避難場所確保を実現

避難場所を守るハード対策（一般的な補助事業）との比較



4年間の短縮かつ約5000万円（県負担1800万円）の縮減

重点的なハード対策の実施

○緊急輸送道路や避難場所等を保全する施設整備及び老朽化対策を計画的に実施。



ソフト対策

○リスクの見える化や危険度情報の発信、防災啓発・教育等を関係機関と連携して実施。



御礼 防災教育や啓発活動など、本県における『土砂災害の自分事化』に向けた取組みに協力頂き感謝申し上げます。



国にお願いすること

1. 国による砂防事業の推進
 - ・引き続き、再度災害を防止するとともに、五條・吉野地域の安全・安心・発展のための**事業推進**をお願いします。
2. 奈良県の実施する土砂災害対策への支援
 - ・引き続き、土砂災害対策を進めるために必要な**支援**をお願いします。

【県担当部局】 県土マネジメント部 砂防・災害対策課